

令和4年度

入学試験問題

国語

※試験開始のチャイムや合図があるまで開かないこと

〔注意事項〕

1. 問題用紙は、10ページまでである。
2. 解答は、すべて別紙の解答用紙の所定欄に記入すること。
3. 解答用紙への記入は、試験開始後に記入すること。
4. 解答用紙には出身中学校・受験番号・氏名を必ず記入すること。
5. 試験開始の30分後から退場はできるが、解答用紙は必ず裏返して退場すること。
6. 問題用紙は、各自で持ち帰ること。

常磐高等学校

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

雑草と呼ばれる植物には、さまざまな共通した特徴がある。その中でも、もっとも基本的な特徴は、「弱い植物である」ということだ。もしかすると、意外な感じに思えるかも知れない。私たちの周りを見回すと、雑草は強い植物であるような感じがする。「雑草のように強く」という言葉もあるくらいだ。その①雑草が「弱い植物」であるとは、どういうことなのだろうか。ア、雑草が弱い植物であるとすれば、植物にとって「強さ」とはいったい何なのだろうか？

「雑草が弱い」というのは、「競争に弱い」ということである。自然界は、激しい生存競争が行われている。X、適者生存が、自然界の厳しい掟なのだ。それは植物の世界も同じである。光を奪い合って、植物は競い合って上へ上へと伸びていく。イ、枝葉を広げて、遮蔽し合うのである。もし、この競争に敗れ去れば、他の植物の陰で光を受けられずに枯れてしまうことだろう。A、

戦いは地面の上だけでは見えない。地面の下では、水や栄養分を奪い合って、さらに熾烈な戦いが繰り広げられている。植物はiオダヤカに生きていくように見えるかも知れないが、激しく争い合っているのだ。植物は、太陽の光と水と土さえあれば生きられると言われるが、その光と水と土を奪い合って、激しい争いが繰り広げられているのである。雑草と呼ばれる植物はこの競争に弱いのである。B、

どこにでも生えるように見える雑草だが、じつは多くの植物が生える森の中には生えることが出来ない。豊かな森の環境は、植物が生存するのに適した場所である。しかし同時に、そこは激しい競争の場でもある。そのため、競争に弱い雑草は深い森の中に生えることができないのである。雑草は弱い植物である。競争を挑んだところで、強い植物に勝つことはできない。そこで、雑草は強い植物が力を発揮出来ないような場所を選んで生えているのである。それが、道ばたや畑のような人間がいる特殊な場所なのだ。C、

森の中にも雑草が生えているのを見たことがある、という意見もあるかもしれないが、それはハイキングコースやキャンプ場など、人間が管理をしている場所である。

生き抜く上で、競争に弱いということは、致命的である。雑草は、どのようにして、この弱点をiiコクフクしたのであるだろうか。弱い植物である雑草の基本戦略は「戦わないこと」にある。強い植物がある場所には生えずに、強い植物が生えない場所に生えるのである。言ってしまうと、競争社会から逃げてきた脱落者だ。ウ、私たちの周りにはびこる雑草は、明らかに繁栄している成功者である。雑草は勝負を逃げているわけではない。土の少ない道ばたに生えることは、雑草にとっては戦いだし、耕されたり、草取りされる畑に生えることも雑草にとっては戦いだ。確かに、強い植物との競争は避けているけれども、生きるためにちゃんと②勝負に挑んでいるのである。どこかでは勝負をしなければならない。ただ、勝負の場所を心得ているのだ。D、

(中略)

踏まれたり、耕されたり、草取りをされることは、植物の生存にとって好ましいことではない。E、

雑草を完全に根絶やしにすることは難しい。この雑草を完全になくす方法が一つだけあると言われている。③意外なことに、それは、「雑草をとらないこと」だと言うのだ。まるで禅問答である。これは一体、どういうことなのだろう。草取りをしないとどうなるのだろう。草取りをしなければ、雑草がどんどんはびこっていつてしまうことだろう。やがては、雑草ばかりか灌木かんぼくなど、大型の植物がどんどんと生えてきて、そこは草木が生い茂った藪となる。そしてそこは、ついに木が生えた森となってしまうことだろう。「雑草」と呼ばれる植物は、一般に他の植物との競争に対して弱い。だから、雑草は豊かな森には生えることができないと先述した。

草取りをしないと、競争に強い大型の植物や木々が生い茂る。こうなると、雑草と呼ばれる植物は、生存することができなくなってしまふのだ。 **エ**、雑草はなくなっても、そこは藪になったり、ついにはうっそうとした森になってしまふから、畑や庭の雑草をなくす方法としては現実的ではないのと言うまでもない。

(稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』による。一部改変)

(注) 灌木…低い木のこと。高さ約2メートル以内の樹木。

禅問答…何を言っているのか、はたからはわからない問答。

問一 本文中の傍線部 i オダヤカ ii コクフク をそれぞれ漢字で書きなさい。ただし送り仮名が必要な場合は書くこと。

問二 本文中の二重傍線部 縲 の「縲」の画数と同じものを次の1～4から一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 騷
- 2 緯
- 3 謝
- 4 蹴

問三 本文中の空欄 **X** には、「弱者が強者の犠牲になること」という意味の四字熟語が入るが、その四字熟語を考えて書きなさい。

問四 本文中に ①雑草が「弱い植物」である とあるが、どういう意味か。次の文章の空欄にあてはまる語句をそれぞれ本文中から抜き出して書きなさい。

他の植物と【Ⅰ…五字】を奪い合う【Ⅱ…五字】に弱いということ。

問五 本文中に ②勝負に挑んでいる とあるが、具体的にはどういふことか。次の1～4から適当なものを一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 森の中で繁栄する努力をしているということ。
- 2 他の植物や人間がいない場所で生存することを選んでいふということ。
- 3 土の少ない道端や耕される畑などリスクのある場所に生えるということ。
- 4 強い植物に対抗するため集まって生存するということ。

問六 次の一文が入る位置として適当なものを本文中A～Eから一つ選び、記号を書きなさい。

「しかし、競争に弱い雑草にとっては、それこそが生存のチャンスなのである。」

問七 本文中の空欄 **ア** ～ **エ** に入る接続詞の組み合わせとして最も適当なものを次の1～4から一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 **ア**…そして **イ**…そもそも **ウ**…しかし **エ**…もちろん
- 2 **ア**…そもそも **イ**…そして **ウ**…もちろん **エ**…しかし
- 3 **ア**…そして **イ**…もちろん **ウ**…そもそも **エ**…しかし
- 4 **ア**…そもそも **イ**…そして **ウ**…しかし **エ**…もちろん

問八 本文中に ③意外なことに、それは、「雑草をとらないこと」だと言ふのだ。 とあるが、なぜ「雑草を取らないこと」が「雑草を完

全になくす方法」になるのか。次の書き出しに続けて空欄にあてはまるように三十字以上、四十字以内でまとめて書きなさい。ただし「生存」「競争に弱い」の二つの語句を必ず使うこと。

草取りをしないと、【

】から。

次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

【ここまでのあらすじ】私（OL二ノ宮こと葉）は、想いをよせていた幼なじみ今川厚志の結婚式に最悪の気分で出席していた。ところがその結婚式で涙があふれるほど感動する衝撃的なスピーチに出会う。それは伝説のスピーチライター（政治家や企業のトップなどに代わって演説やスピーチの原稿を書くことを職業としている人）久遠久美の祝辞だった。空気を一変させる言葉に魅せられてしまった私は久美に弟子入りする。

そんなわけで、ともあれ千華の結婚披露宴に向けて、私は久遠事務所に **A** 通うことになった。

いつものアフターファイブは千華や美和や奈菜とお茶したりウインドウショッピングをしたり映画に行ったりしてただけど、お式の準備で忙しい千華に合わせるように私も **B** 「お先！」と会社を後にしていた。「まさか彼氏できたの？」と美和や奈菜には「まさか」付きで疑われもした。まさか妙齢の美女の事務所へスピーチ指南を受けに行っているとは、思いもよらないだろう。

スピーチ指南が始まって、最初に久美さんが私に伝授してくれた言葉。

デスクの上に山積みになっているコピー用紙を一枚抜き取って、久美さんは鉛筆で **C** 字を書いた。

「はい、これ。スピーチの大基本」

私の目の前に **D** 差し出された紙に書いてあった一文字。

静

「しずか……?」

私がつぶやくと、久美さんは微笑してうなずいた。

「スピーチの原稿を始めるとき、そしてスピーチを始めるとき、心にこの文字を浮かべる。それが基本です」
まず、心を平静にして、思い浮かべる。このスピーチの目指すところはどこにあるのか。

それは、スピーチをする場や状況によってさまざまだ。披露宴のときは、新郎新婦を祝って。①弔辞ならば、故人を偲び、遺族を思いやつて、国会の演説ならば、国民全体の気持ちを代弁しなければならぬ。選挙運動ならば、聴衆を②鼓舞しなければ。

それから、スピーチに向かうとき。必要以上に力を入れたり、威勢を張ったりする必要はない。人前に出るのだから、無理に目立つ必要はない。力を抜き、心静かに平常心で臨む。

そして、壇上が上がって、まず五秒待つ。会場が静かになるのを。五秒で無理なら、十秒。それでもだめなら十五秒。十五秒というのは、けっこう長い。たいてい、聴衆は十五秒以内に静まる。だから、壇上が上がってすぐに始めずに、五秒間隔で静かになるのを待つ。

スピーチの導入部も、あくまで静かに始める。始め方はさまざまだが、「ただいまご紹介にあずかりました」とか「ひとことお祝いを述べさせていただきます」のような、無駄な（ ）は極力避ける。③いきなりエピソードから始めてもいい。結論を先に言ってしまってもいい。とにかく、最初のフレーズがどんなふうに聴衆の耳に届くか。それでそのスピーチの印象が決まる。聴衆を煽^{あお}る激しい言葉や、あまりにも力強いフレーズは避ける。あくまでも、静かに、けれど心を打つ④入口を作る。

「静かに静かに始めて、中盤あたりで徐々に盛り上げていく。そして最後に心をつかむ。最初の静かな一言と、最後の情熱のこもったフレーズで、聴衆の感動の振り幅が決まるの」

「ふうん、なるほど。まるで、オーケストラの演奏みたいですね」

私が感心して言うと、「そう、そんな感じね」と、久美さんは楽しそうにうなずいた。

(原田マハ『本日は、お日柄もよく』による。一部改変)

(注) 妙齢…(女性の)若い年頃。

指南…武術・芸能などを教え示すこと。指導すること。

問一 本文中の ①弔辞 ②鼓舞 の漢字の読みを、平仮名で書きなさい。

問二 本文中の ③いきなりエピソードから始めてもいい。 という文は何文節から成るか。数字で書きなさい。

問三 本文中の空欄 A B C D に入る擬音語・擬態語の組み合わせとして最も適当なものを、次の1～4から一つ選び、番号を書きなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|---|------|
| 1 | A | そそくさと | B | せつせと | C | すらすらと | D | べらつと |
| 2 | A | せつせと | B | そそくさと | C | かつかつと | D | べらつと |
| 3 | A | そそくさと | B | せつせと | C | かつかつと | D | ぱつと |
| 4 | A | せつせと | B | そそくさと | C | すらすらと | D | ぱつと |

問四 本文中の（ ）には「前置き」という意味の語が入る。和歌などにおいて、決められた語の前において修飾したり、語調を整えたりする働きを持つその語を漢字二字で書きなさい。

問五 本文中の ④入口 を具体的に述べている箇所を本文中から七字でそのまま抜き出して書きなさい。

問六 次の の中は本文を読んだ林田さんと山田君と先生が、スピーチについて会話をしている場面である。空欄（ア）（イ）のそれぞれに当てはまる「静か」を含む言葉を考えて書きなさい。ただし、（ア）は六字、（イ）は七字とする。

先生 君たちも、今後人前で話す機会が増えてくると思うが、本文を読んでどんな感想を持ちましたか。

林田さん 僕にとってスピーチといえば、何よりも話す人の熱意が大切だと思っていて、そういう意味では、「静」というキーワードは意外でしたね。

山田君 僕も、聴衆を感動させるためには、静かさよりもどちらかというと力強さの方が必要ではないかと思っていました。

先生 そうだね。いずれにせよ、スピーチでは言葉を使って聴衆に訴えます。日頃は意識せずに使っている言葉だけど、その大切さについて、改めて考えるきっかけになったのではないかな。

林田さん はい。結局スピーチで大切なことは、最初を（ア）ということだけでなく、自分の（イ）ことの重要性も登場人物を通して作者は言いたかったのですね。ぜひ自分がスピーチをする際の参考にしたいと思います。

三

次は、『宇治拾遺物語』という本にある話【A】と、その現代語訳【B】です。これらを読んで、後の各問に答えなさい。

【A】

柿の木に仏現ずる事

昔、延喜の御門の御時、五条の天神あたりに、大なる柿の木の実ならぬあり。その木の上に仏現れておはします。京中の人こそぞりて参りけり。馬、車も立てあへず、拝みののしりけり。

かくする程に、五六日あるに、右大臣殿心得ず思し給ひける間、誠の仏の、世に出で給ふべきにあらず。我行きて試みんと思して、日の装束うるはしくして、檳榔の車に乗りて、御前多く具して、集りつどひたる者ども退けさせて、車かけはづして榻を立てて、梢も目もたたかず、あからめもせずしてまもりて、一時ばかりおはするに、この仏暫しこそ花も降らせ、光をも放ち給ひけれ、あまりにまもられて、しわびて、大なる鳶の羽折れたる、土に落ちて惑ひふためくを、童部ども寄りて打ち殺してけり。大臣はさればこそとて、帰り給ひぬ。

さて、時の人この大臣を、いみじくかしこき人にておはしますとぞののしり①。

〔『日本古典文学全集28 宇治拾遺物語集』による。一部改変〕

(注) 装束…朝廷の公事の時の正装。

檳榔の車…貴族の乗る屋根付きの牛車。

榻…牛車を降り降りするときの踏み台。

【B】

柿の木に仏が現われる事

昔、醍醐天皇の御時、五条の天神のあたりに、大きな柿の木で、実のならない木があった。その木の上に、仏が現れておいでになる。京中の人はこぞって拝みに行つた。馬も車も停めるすきもなく人もせき止められないほどで、大変な騒ぎで拜むのであつた。

こうしているうちに五、六日は過ぎたが、右大臣殿がどうも納得できないと思つたので、「本当の仏がこの世に現われておいでになるはずがない。②。」とお思いになり、昼の装束をきちんと召され、檣の車に乗つて、先払いの供を多く連れて、集まり群がっていた人たちをどかせて、車から牛をはずしてながえを榻に乗せて、まばたきもせず、またわき見もせずじつと見守つて、二時間ほどおいでになつた。するとこの仏が、しばらくの間こそ花をも降らせ、光をも放つておられたが、あまりにも長い間じつと見つめられて困り果て、大きな羽の折れた鳶となつて地面に落ちて、ばたばたしているのを、子供たちが寄り集まつて打ち殺してしまつた。大臣は③と思ひお帰りになつた。

そこで、当時の人たちがこの大臣を、非常に賢い人でいらつしゃると評判しあつたのである。

問一

【A】の つどひたる者 の読み方を、全て現代仮名遣いに直し、平仮名で書きなさい。

問二

【A】の ① には過去の意味の助動詞が入ります。正しい形（活用形）のものを、次の1～4から一つ選び、番号を書きなさい。

- 1 けら
- 2 けり
- 3 ける
- 4 けれ

問三 【A】に さればこそ とあるが、大臣はどのように思ったのか。【B】の ③ に入る言葉を、次の1～4から適当なものを一つ

選び、番号を書きなさい。

- 1 かわいそうに
- 2 それみたことか
- 3 子供は元気だな
- 4 やはり仏だった

問四 次の 〇 の中は、【A】と【B】を読んだ和也君と早苗さんと先生が、会話をしている場面です。

先生 この話の主人公である右大臣殿のどんな点が「非常に賢い人」だと評価されたと思うか話し合みましょう。

和也君 私は、京中の人々が柿の木に仏が現れるという 【A】 を信じて、拝むために集まっていたにもかかわらず「心得ず」と思っ
て 【イ】 点が非常に賢い考え方だと思います。

早苗さん 私は、「誠の仏の、世に出で給ふべきにあらず。」と信じて ② とする点も、賢い行動だと思います。

和也君 そうだね。どちらにも言えることは、迷信や 【ア】 を信じるだけではいけないことかもしれないね。

早苗さん そのためには、本当のことや大切なことは何なのかと、自分で考えたり知恵を付けたりすることが、賢者への道のりだという
事だね。

先生 二人とも、「賢い人」についてよく考えることができましたね。

(1) 【ア】 に入る最も適当な語句を、平仮名三字で考えて書きなさい。

(2) 【イ】 には次の一文が入ります。(あ) に入る語句を【A】から、そのまま抜き出して書きなさい。
多くの人が信じている迷信に (あ) わされなかった

(3) 【B】と会話文中の ② は同じ言葉が入ります。その内容を現代語で考えて、十五字以内で書きなさい。ただし、自分という語句
を必ず使うこと。

四

常磐高校では、毎朝十分間の読書の時間を設けています。中学生の皆さんも日々読書に親しんでいることと思います。そこで、中学生になって、あなたが読んだ本の中から、最も心に残った一冊（教科書・マンガ以外）について、次の**条件1**から**4**に従って文しなさい。

条件1 文章は、二段構成とすること。

条件2 第一段には、本の内容を紹介すること。

条件3 第二段には、第一段を踏まえ、あなたが考えたことを書くこと。

条件4 題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従い、八行以上十行以内で書くこと。